

こんにちは 家畜保健衛生所です

米国の乳牛における高病原性鳥インフルエンザ (HPAI)ウイルスへの感染事例について

近時、米国において、乳量の減少、食欲低下等がみられた乳牛におけるHPAIウイルス(H5N1 亜型)の感染が複数確認されています。渡り鳥が感染源とみられていますが、一部、牛から牛への感染の可能性が排除できないとされているなど、引き続き、米国当局による調査が続いています。

また、感染が推定される乳牛と接触のあった人の同ウイルス感染事例(結膜炎症状を示した後に回復傾向)も報告されています。現在のところ人を含むほ乳類への感染性を高めるウイルスの遺伝子変異等は確認されておらず、感染動物と直接接触する等した人が感染する可能性はあるものの、一般市民の健康リスクは依然として低いとされています。

なお、日本国内では牛へのHPAIウイルス感染は報告されていません。

★飼養牛に乳量の減少、食欲低下等がみられた場合には・・・

当該牛を群から隔離管理し、家畜保健衛生所に連絡してください。

★飼養牛への感染防止を図るため・・・



畜舎の給餌設備及び給水設備並びに飼料の保管場所に野鳥の排せつ物等が混入しないよう必要な措置を講ずるなど、飼養衛生管理基準に基づく基本的な衛生管理を徹底してください。

【平日】

家畜保健衛生所業務第一課 0743-59-1700

家畜保健衛生所業務第二課 0745-62-2440

【休日・夜間】

県庁守衛室0742-22-1001